

令和6年度第9期行田市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会評価・検証部会
令和7年2月7日（金）

第9期行田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 重点事業の進捗状況

第9期行田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 重点事業の進捗状況

基本目標 1 誰もが住み慣れた地域でその人らしく人生の最期まで暮らせるよう、必要なサービス提供や 支援を行う体制を確保する。

重点目標

令和4年度のアンケートで、介護職員に不足があると回答した市内介護事業所数の割合（51%）を、令和8年度までに41%以下にする。

【重点事業】

目標

介護（看護）離職防止及び生産性の向上への取組支援

具体的な目標

・介護ロボットやICT機器の導入に関する情報提供を年1回行う

【重点事業】

目標

外国人介護人材採用の支援

具体的な目標

・採用方法、受入れの環境整備、外国人介護職員の声を聞く場を年1回開催する

実施内容

実績

令和6年12月末現在

介護ロボットやICT機器の導入に関する情報提供

厚生労働省主催「生産性向上の取組支援セミナー」の開催通知を市内介護事業所に電子メールで情報提供（R6.10月）

公益財団法人テクノエイド協会主催「介護テクノロジー等活用ミーティング」の開催通知を市内介護事業所に電子メールで情報提供（R6.10月）

介護ロボットやICT支援システムの活用に関した展示会を視察し、資料を介護事業所が閲覧できるよう課内に配置

実施内容

実績

令和6年12月末現在

外国人介護職員の採用方法、受入れの環境整備に関する情報収集

市内3施設（緑風苑、ふぁみいゆ行田、まきば園）に、外国人介護職員の活用によるメリット・デメリット及び課題などの聞き取り（R6.10月）

介護現場で働く外国人介護職員に、日常生活で困ったこと等の聞き取り（R6.10月）

外国人介護職員の声を聞く場の開催

介護施設の職員や実際に働いている外国人介護職員から聞き取った内容を、今年度中に市内介護事業所へ情報発信

第9期行田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 重点事業の進捗状況

基本目標 1 誰もが住み慣れた地域でその人らしく人生の最期まで暮らせるよう、必要なサービス提供や 支援を行う体制を確保する。

重点目標

令和4年度のアンケートで、介護職員に不足があると回答した市内介護事業所数の割合（51%）を、令和8年度までに41%以下にする。

【重点事業】

目標

元気な高齢者等多様な人材の活用

具体的な目標

・ボランティアの活用を希望している介護（看護）事業所に対してシルバー人材センターや社会福祉協議会のボランティア事業を紹介する説明会を年1回開催する

【重点事業】

目標

就職支援、求職者（学生含む。）と介護（看護）事業所とのマッチング

具体的な目標

・介護・看護分野の就職又は進学につなげるため、介護に関する研修を市内外の高校生向けに年1回開催する
・小学生向けに高齢者への理解を深める事業を年1回、中学生向けに介護の仕事に関する魅力発信及び職場体験会を年2回実施する

実施内容

実績

令和6年12月末現在

介護（看護）事業所に対して、シルバー人材センターや社会福祉協議会のボランティア事業を紹介する説明会開催

無資格でもできる業務に「シルバー人材センター」や「いきいき元気サポート」の人材を活用してもらうよう今年度中に市内介護（看護）事業所へ情報発信予定。

実施内容

実績

令和6年12月末現在

小・中・高校生向け事業

小中学生については、授業のカリキュラムへの組み込み方についてを、高校生については学生への効果的な実施方法についてを相談中

行田市主催の「介護に関する入門的研修」開催

1回実施

修了者8名
就職者2名

介護（看護）事業所とのマッチング

1回実施

ハローワークとの共催による介護就職デイ面接会開催
参加者31名
採用人数3名

基本目標 1 誰もが住み慣れた地域でその人らしく人生の最期まで暮らせるよう、必要なサービス提供や 支援を行う体制を確保する。

重点目標

令和4年度のアンケートで、介護職員に不足があると回答した市内介護事業所数の割合（51%）を、令和8年度までに41%以下にする。

【重点事業】

目標

認知症ケア体制を充実する

具体的な目標

- ・認知症カフェを 12か所にする
令和5年度 8か所
⇒ 令和8年度 12か所
- ・すべての認知症カフェ、あんしん声かけ体験（徘徊模擬訓練）に認知症サポーター養成講座修了者がボランティアとして参加する



実施内容

実績

令和6年12月末現在

認知症カフェ数

10か所

認知症サポーター養成講座修了者がボランティアとして参加している認知症カフェ数

10か所中4か所

認知症サポーター養成講座修了者がボランティアとして参加したあんしん声かけ体験（徘徊模擬訓練）※数

あんしん声かけ体験実施数 0

※自治会等地域住民、認知症地域支援推進員、地域包括支援センター、市が協働で行うもの。

第9期行田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 重点事業の進捗状況

基本目標2 健康でいきいきとした高齢者を増やし、介護を必要とする人を抑制する。

重点目標 令和8年度に要介護・要支援認定率を15.4%以下にする。

【重点事業】

目標 各種検診の受診促進の強化

具体的な目標

行田市国民健康保険保健事業実施計画、行田市健康増進・食育推進計画にて実施

① がん検診

20.30.40.50.60歳の10歳刻み節目年齢の方に対し、個別通知を実施した。LINEやホームページ等で周知をした。

受診者数・受診率※

実施内容		実績
本計画のR6年度目標値		R6年12月末現在
胃がん検診	1,300人 (2.5%)	707人 (1.4%)
乳がん検診	1,200人 (4.5%)	725人 (2.7%)
子宮がん検診	1,000人 (2.9%)	430人 (1.3%)
肺がん検診	1,300人 (2.5%)	1,070人 (2.0%)
大腸がん検診	4,500人 (8.6%)	2,545人 (4.9%)

② 歯周病検診

20.30歳も受診対象として拡大したため、20歳を祝う会で歯周病健診のチラシを配布した。

実施内容		実績
本計画のR6年度目標値		R6年12月末現在
歯周病検診 受診者数	270人	149人

③ 肝炎ウイルス検診

検診一覧に掲載し、周知を図った。

実施内容		実績
本計画のR6年度目標値		R6年12月末現在
肝炎ウイルス検診 受診者数	30人	31人

※本計画上の受診率＝受診者数/検診対象者年齢の1月1日時点人口
胃がん及び子宮がんは、令和6年度より2年に1度の受診に変更。

第9期行田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画重点事業の進捗状況

基本目標2 健康でいきいきとした高齢者を増やし、介護を必要とする人を抑制する。

重点目標 令和8年度に要介護・要支援認定率を15.4%以下にする。

【重点事業】

目標 各種検診の受診促進の強化

具体的な目標

行田市国民健康保険保健事業実施計画、行田市健康増進・食育推進計画にて実施

令和6年度の取組み

④特定健康診査・特定保健指導及び後期高齢者健康診査

【特定健康診査】受診勧奨事業の実施（AIを活用した勧奨ハガキの作成及び送付、経年結果付き通知、電話勧奨）、診療情報提供事業の実施。ポスター掲出やチラシの作成、民生委員等を通じPR、移動販売車のデジタルサイネージでPR活用

※目標値設定なし

		令5年12月末 時点	令和6年12月末 時点
特定健康 診査	対象者数	12,874人	12,000人
	受診者数	2,206人	2,054人
	受診率	17.10%	17.10%
後期高齢 者健康診 査	対象者数	12,322人	13,245人
	受診者数	1,720人	1,886人
	受診率	13.90%	14.24%

令和6年度 行田市国民健康保険 (40~74歳の方)

日々の楽しみも健康だからこそ！ 毎年受けよう！

特定健診

健診は半日！健康は一生！

「“いつか”受けよう」はいつですか？
気付いた今!!
予約をして健診を受けよう!!

医療機関などの詳細はQRコードからアクセス！

令和6年6月1日(土)

令和7年2月28日(金)

実施期間

特定健診受診促進キャンペーン

～行田市オリジナル受診特典～

①初めて受診した方 ②3年以上継続受診している方
の中から抽選で各10名に…

市内共通商品券(5,000円分)をプレゼント!!

【問い合わせ】行田市役所健康課 ☎556-1111

後期高齢者医療制度に加入の皆様へ

後期高齢者健診

生活習慣病の早期発見や介護予防のための健診です。
～毎年の健診で健康寿命を延ばしましょう！～

令和6年 令和7年
実施期間 6月1日～2月28日

費用 無料

年齢を重ねても
HATAの健康に過ごしましょう！

※市内の実施医療機関に予約の上、保険証、受診券を持参して受診してください。

OK!

受診券は5月末に郵送しています。

- 年度途中で75歳になる方は、保険証と一緒に受診券をお送りいたします。
- 施設入所中の方の受診でできません。
- 65歳以上75歳未満の方で後期高齢者医療制度に加入の方も対象です。
- お手元に受診券がない方は、下記までお問い合わせください。

<問い合わせ>
行田市役所健康課 ☎556-1111 (内線 361~364)

基本目標2 健康でいきいきとした高齢者を増やし、介護を必要とする人を抑制する。

重点目標 令和8年度に要介護・要支援認定率を15.4%以下にする。

【重点事業】

目標

高齢者保健事業と介護予防の一体的事業の推進

具体的な 目標

令和6年度は5圏域の日常生活圏域のうち2圏域で健康状態不明者を対象とした個別的支援と通いの場を活用した栄養・口腔等のフレイル予防などの健康教育・健康相談を実施

実施内容	実績					
高齢者保健事業と介護予防の 一体的事業の推進	行田シルバー人材センターに委託し、いきいきサロンでフレイル予防教室を実施。健康状態不明者に対し、アンケートを送付。					
	<table><tr><th>高齢者対象の 健康教室</th><th>令6年度目標値</th><th>実績 令和6年12月末時点</th></tr><tr><td>実施圏域数</td><td>2</td><td>1</td></tr></table>	高齢者対象の 健康教室	令6年度目標値	実績 令和6年12月末時点	実施圏域数	2
高齢者対象の 健康教室	令6年度目標値	実績 令和6年12月末時点				
実施圏域数	2	1				

基本目標2 健康でいきいきとした高齢者を増やし、介護を必要とする人を抑制する。

重点目標 令和8年度に要介護・要支援認定率を15.4%以下にする。

目標 通いの場（通える場）での介護予防活動を拡大する

具体的な
目標

- ・ご近所型介護予防事業（100歳体操、リズム体操等の運動を組み合わせたもの）
令和5年度 14か所 ⇒ 令和8年度 30か所（1年度に6か所ずつの増）
- ・住民主体の介護予防に資する活動（文化、スポーツ、レクリエーション等）の場を市内120か所以上維持する
- ・通いの場への移動手段を創設し、通える環境を整備する

実施内容	実績	令和6年12月末現在
ご近所型介護予防事業実施か所数	18か所	
住民主体の介護予防に資する活動数	ご近所型介護予防事業（100歳体操）18か所 公民館活動 87クラブ グランドゴルフ 25か所 いきいきサロン 70か所 合計200か所	
通いの場への移動手段、通える環境の整備	通いの場へのヒアリング、社会福祉法人1法人と実施に向け調整 「通いの場移動支援事業補助」令和7年2月開始予定	

基本目標2 健康でいきいきとした高齢者を増やし、介護を必要とする人を抑制する。

重点目標 令和8年度に要介護・要支援認定率を15.4%以下にする。

目標 通いの場（通える場）での介護予防活動を拡大する

具体的な目標

- ・ご近所型介護予防事業（100歳体操、リズム体操等の運動を組み合わせたもの）
令和5年度 14か所 ⇒ 令和8年度 30か所（1年度に6か所ずつの増）
- ・住民主体の介護予防に資する活動（文化、スポーツ、レクリエーション等）の場を市内120か所以上維持する
- ・通いの場への移動手段を創設し、通える環境を整備する

実施内容

実績

令和6年12月末現在

いきいきサロン事業の充実

新規設置2か所、解散5か所
いきいきサロンへのアンケート調査の実施（回答52サロン）
いきいきサロンの協力員研修会にていきいきサロン間の情報交換会を実施（参加53サロン・53人）
いきいきサロン会員からの出前講師（自薦・他薦）の募集（折り紙講師、花手水づくり講師等 新規3人）

総合福社会館における各種事業の充実

	R6年度目標値	実績
機能回復訓練室 （障がい者を含む）	14,000人	8,499人
プール	8,000人	4,665人
水中ウォーキング	40人	0人
陶芸教室	110人	78人
水泳教室	40人	37人
脳トレ体操教室	100人	57人